

科目区分	専門教育科目	科目名	介護総合演習Ⅲ		科目コード	17F600	担当者	荒木 正平、植木 明子、 田川 千秋			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
実習Ⅱのねらい・目的・目標を理解して、介護過程の展開・事例研究に取り組むことができる。 文献学習により、自身の福祉的価値観や介護観を深める。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性 ・ 真摯性	② 多様性 ・ 協働性	③ 知識 ・ 技能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 主 行 体 力 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
1.	ロールプレイへの取組みを通して、学びを深めることができる。					◎	◎	○	◎	◎	○
2.	アセスメントからケアプランの立案・実施・評価までを行う。					◎	◎	○	◎	◎	○
3.	地域交流企画の立案・実施に、積極的に関わることができる。					◎	◎	○	◎	◎	○
4.						◎	◎	○	◎	◎	○
5.						◎	◎	○	◎	◎	○
授業方法						成績評価の方法と割合					
コース教員が連携して授業を進める。実習4・5を通して取り組んだ介護過程のプロセスを、事例研究報告としてまとめていく。 地域交流活動は、学生の主体的な取り組みを重視した授業構成とし、地域の福祉に関する理解促進を図る。						受講態度（20%） 提出物（20%） 実習先の評価（20%） 実習の記録（20%） 発表内容（20%）					
準備学修						課題等への対応					
事例研究のまとめについては、各自それぞれに課題が異なりますので、自主的な学習を進めましょう。 地域交流活動の取り組みに向けては、まず、自身の生活する地域の特徴や学校周辺地域の現状に関心に向け、意識を働かせて、情報を集めてみましょう（授業前後の学習として30～40分程度）。						担当教員は実習に関する学習状況を確認し、個別指導を実施する。 学生主導で実施する地域交流活動についても、こまめな相談対応・調整等の支援を状況に応じて実施する。					
授業計画											
第1回	介護実習4の振り返りと必要書類の確認・作成等、事例研究とロールプレイについての説明										
第2回	介護実習5に向けて：実習計画書、誓約書など記入、ロールプレイ準備										
第3回	ロールプレイ準備、地域交流活動（打ち合わせ）										
第4回	介護実習4 報告会「ロールプレイ」										
第5回	介護実習5：実習前最終確認、ケアプラン作成（修正）、地域交流活動（打ち合わせ）										
第6回	介護実習5：施設訪問（4・5間の変化等確認）、実習前最終確認、ケアプラン作成（修正）										
第7回	地域交流活動（見学実施）										
第8回	介護実習5：実習後のまとめ（実習自己評価、振り返り、お礼状他書類作成）										
第9回	事例研究の進め方（まとめ方）、地域交流活動について（活動内容の検討・メンバー調整等）										
第10回	事例研究のまとめ（抄録）、地域交流活動について（活動内容の検討・最終決定）										
第11回	事例研究のまとめ（抄録）、地域交流活動について（活動内容の具体化）										
第12回	事例研究のまとめ（抄録）、地域交流活動について（活動内容の具体化）										
第13回	事例研究のまとめ（抄録）、地域交流活動について（活動準備・練習等）										
第14回	事例研究のまとめ（抄録）、地域交流活動について（活動準備・練習等）										
第15回	実習5：事例報告会										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト 「介護総合演習」中央法規出版						「介護過程の展開」が中心課題となります。広い視野をもった支援を実施できる介護福祉士になるために、他のすべての授業との連携を意識して学習に取り組みましょう。 これに並行して、地域交流活動についても、実施に向けて少しずつ準備を進めていきましょう。					